

農林水産省九州農政局 業務説明会

九州農政局 総務課



今日お話しすること

1. 農林水産省について
2. 九州農政局で働くとは
3. 採用案内

農林水産省は何のために存在しているか

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、

常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産行政の流れ

政策の企画・立案 (主に本省)

- ・ 課題の設定
- ・ 基本的な方針の作成

- ・ 政策手法の検討
(法令、事業等)

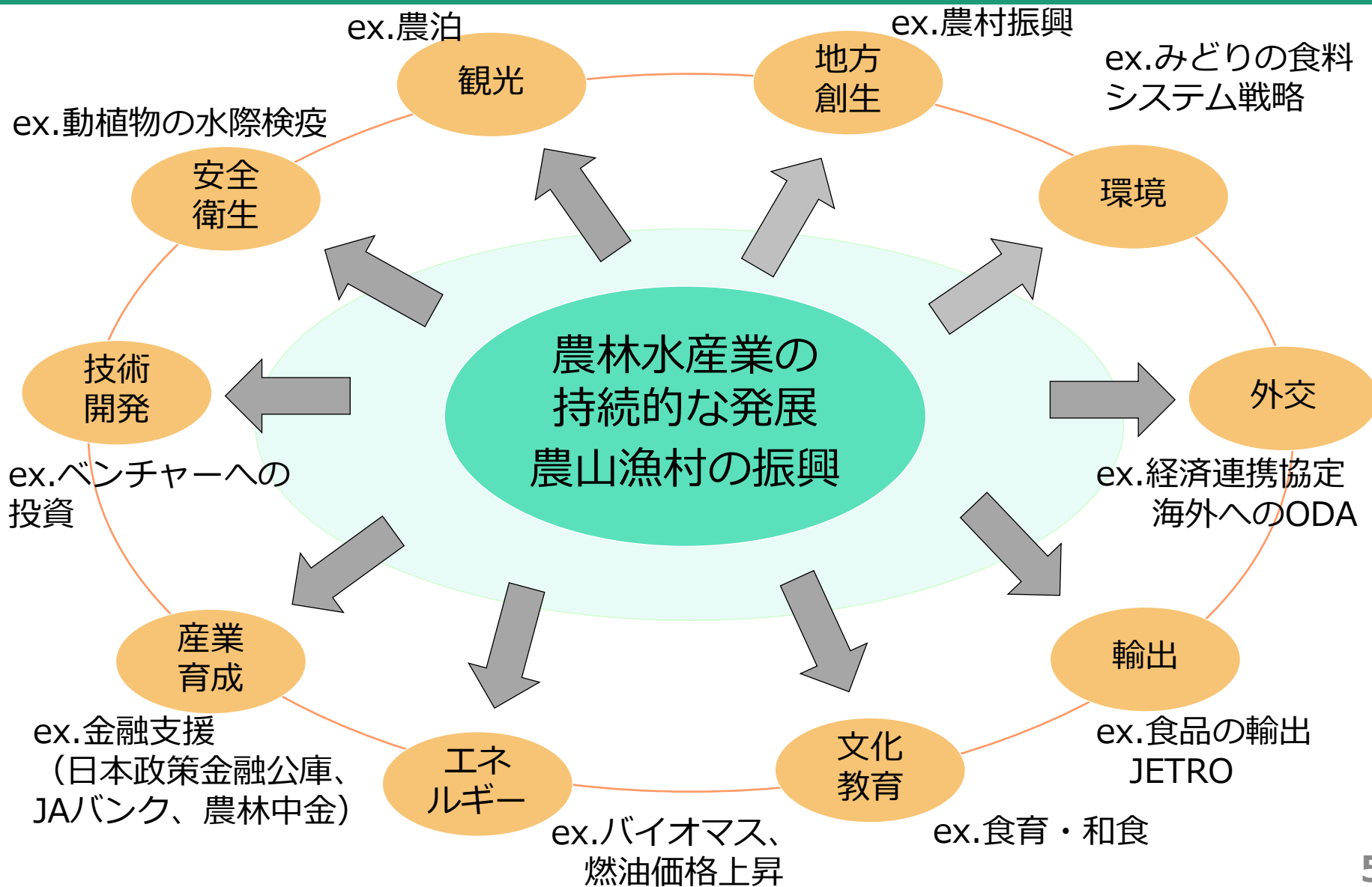
- ・ 政府内、外部との調整
- ・ 法令作成、予算の確保

政策の実行 (主に地方農政局、北海道農政事務所)

- ・ 政策の現場への周知
- ・ 法令、事業等の執行
(検査、交付等)

- ・ 政策情報の収集
- ・ 現場の問題点の把握

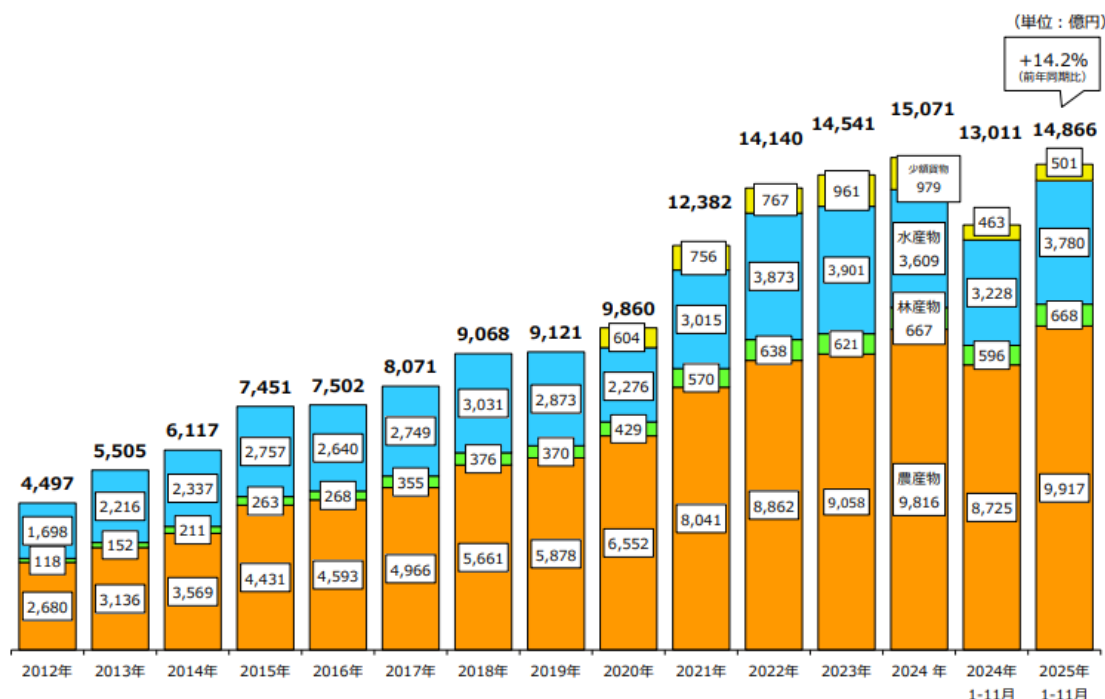
1次産業を核とした多様なフィールドと豊富なツール



農林水産業の持続的な発展：輸出促進

近年急速に増加。2021年 1兆円目標を突破！
2030年輸出額 5兆円の目標達成を目指す。

○農林水産物・食品の輸出額



○諸外国の農産物・食品の輸出割合

(億ドル)

国名	生産額 (農産物・ 食品製造業)	輸出額 (農産物・ 加工食品)	輸出割合
アメリカ	12,335	1,442	12%
フランス	2,591	730	28%
イタリア	2,302	485	21%
イギリス	1,548	286	18%
オランダ	1,066	1,018	95%
日本	4,725	84	2%

注：日本以外の諸外国の林業・漁業生産額については、比較可能な統計がないことから、生産額、輸出額とも含めていない。日本のみ農林水産物として算出。

資料：FAOSTAT, 三井物産戦略研究所, Global Trade Atlas, 生産農業所得統計, 工業統計, 林業産出額, 漁業産出額, 農業・食料関連産業の経済計算

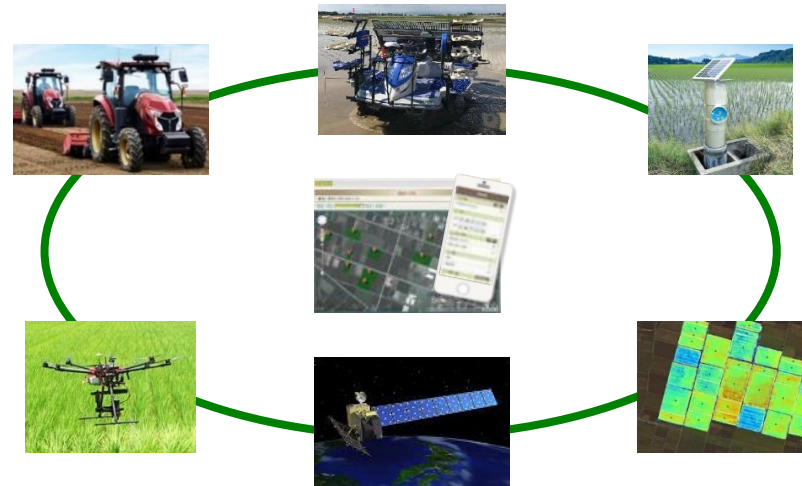
農林水産業の持続的な発展：テクノロジー活用

「農業」 × 「先端技術」 = 「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと

スマート農業の効果

- ① **作業の自動化**
ロボットトラクター、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手不足の解消が可能に
- ② **情報共有の簡易化**
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ **データの活用**
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に



データ連携基盤

農業データ連携基盤

スマート農業に必要なデータを連携・共有・提供。



連携



スマートフードチェーンプラットフォーム

生産から加工・流通・販売・消費に至るデータを連携。



農林水産業の持続的な発展：みどりの食料システム戦略

① 食料システムの関係者の理解の増進



食から日本を考える。
NIPPON FOOD SHIFT

➢ 広報活動の充実

② 技術の研究開発の促進



➢ 産学官連携の強化、研究者の養成等

③ 技術の普及の促進



➢ 栽培マニュアル等の情報提供や普及事業の展開

⑦ 環境負荷の低減に資する農林水産物等の消費の促進



➢ 消費者への適切な情報提供、食育の推進

⑧ 評価手法等の開発



➢ 脱炭素化等の定量化・評価手法（見える化）の検討

④ 環境負荷の低減に資する生産活動の促進



➢ 地力増進、化学肥料・化学農薬の使用低減、温室効果ガスの削減・吸収 など

⑥ 環境負荷の低減に資する農林水産物等の流通の合理化の促進



➢ ICT化、モーダルシフト、集出荷拠点の集約化等

⑤ 環境負荷の低減に資する原材料の利用の促進



➢ 原材料の生産等の状況に関する情報収集・提供

農地・農業水利施設の整備：国営土地改良事業

	事業内容	事業を実施する上での課題
<p>①かんがい排水事業</p>	<p>○ 農業水利施設（ダム、堰、用排水路、用排水機場等）の整備・更新</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基幹的水利施設の2割が耐用年数を超過 ○ 点検・補修による長寿命化の推進
<p>②農地整備事業</p>	<p>○ 農地の大区画化・汎用化、畑地かんがい施設の整備</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 狭小・不整形の農地は作業効率が悪く、担い手農家も敬遠 ○ 大区画化・汎用化により生産コストの大幅削減と収量の増大
<p>③農地防災事業</p>	<p>○ 集中豪雨・地震等の自然災害に対応するための排水機場の整備や老朽化したため池の改修等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集中豪雨の多発化 ○ 全国約21万箇所のため池のうち約1.4万箇所が警戒すべきため池（決壊による下流への影響が大きいもの）

今日お話しすること

1. 農林水産省について
2. 九州農政局で働くとは
3. 採用案内

公務員における職種の違い

□▼総合職と一般職の違い

総合職 … **政策の企画立案業務**

一般職 … **政策の企画立案業務、行政の運営管理業務**

□▼地方公務員と国家公務員の違い

地方公務員 … **地域密着型の仕事**

国家公務員 … **日本のあり方を考えるスケールの大きい仕事**

※農政局等の地方組織での仕事は、生産や消費の現場により近い国の機関のため
現場の声を聞きながら、地域の実情にあった各種施策を実行する仕事

□▼他省庁と農林水産省

どの省庁も、国民のため、**国民に不可欠な行政サービス**を提供

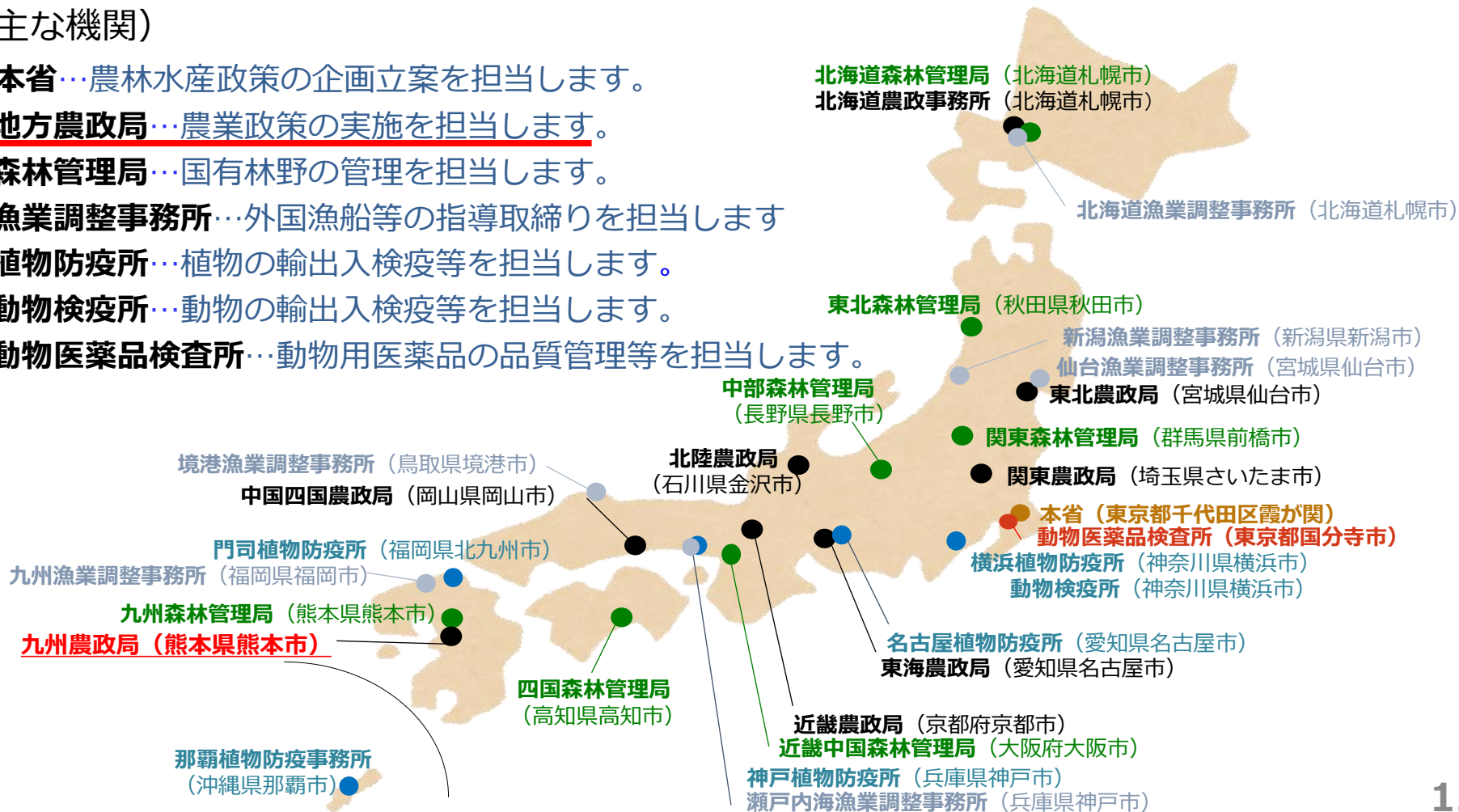
農林水産省は、**豊かな「食」と「環境」**を未来へつなぐ使命を果たす。

農林水産省の組織①

農林水産省は、本省（約5千人）と全国の各地方ブロック機関（約1万4千人）で構成され、総定員数は約1.9万人です。

（主な機関）

- **本省**…農林水産政策の企画立案を担当します。
- **地方農政局**…農業政策の実施を担当します。
- **森林管理局**…国有林野の管理を担当します。
- **漁業調整事務所**…外国漁船等の指導取締りを担当します
- **植物防疫所**…植物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物検疫所**…動物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物医薬品検査所**…動物用医薬品の品質管理等を担当します。



農林水産省（本省）の組織②

大臣官房

(基本的な政策・計画の企画立案、予算、法令、国会、広報、食料安全保障、環境政策)

品目共通課題【横軸】

(環境、防疫、国際交渉、新規就農、インフラ整備など)

消費・安全局

(食の安全確保、植物防疫、動物検疫、食育)

輸出・国際局

(輸出促進、国際交渉、知的財産、国際協力)

経営局

(新規就農、農地、農協、金融、税制、保険)

農村振興局

(インフラ整備、農村活性化、鳥獣対策)

農林水産技術会議事務局

(スマート農業、試験研究)

新事業・食品産業部

(食品流通・食品製造等)

農産局

(米・野菜等、経営安定対策、環境保全型農業)

畜産局

(畜産物、経営安定対策、競馬)

林野庁

(林業・木材産業、森林整備、国有林)

水産庁

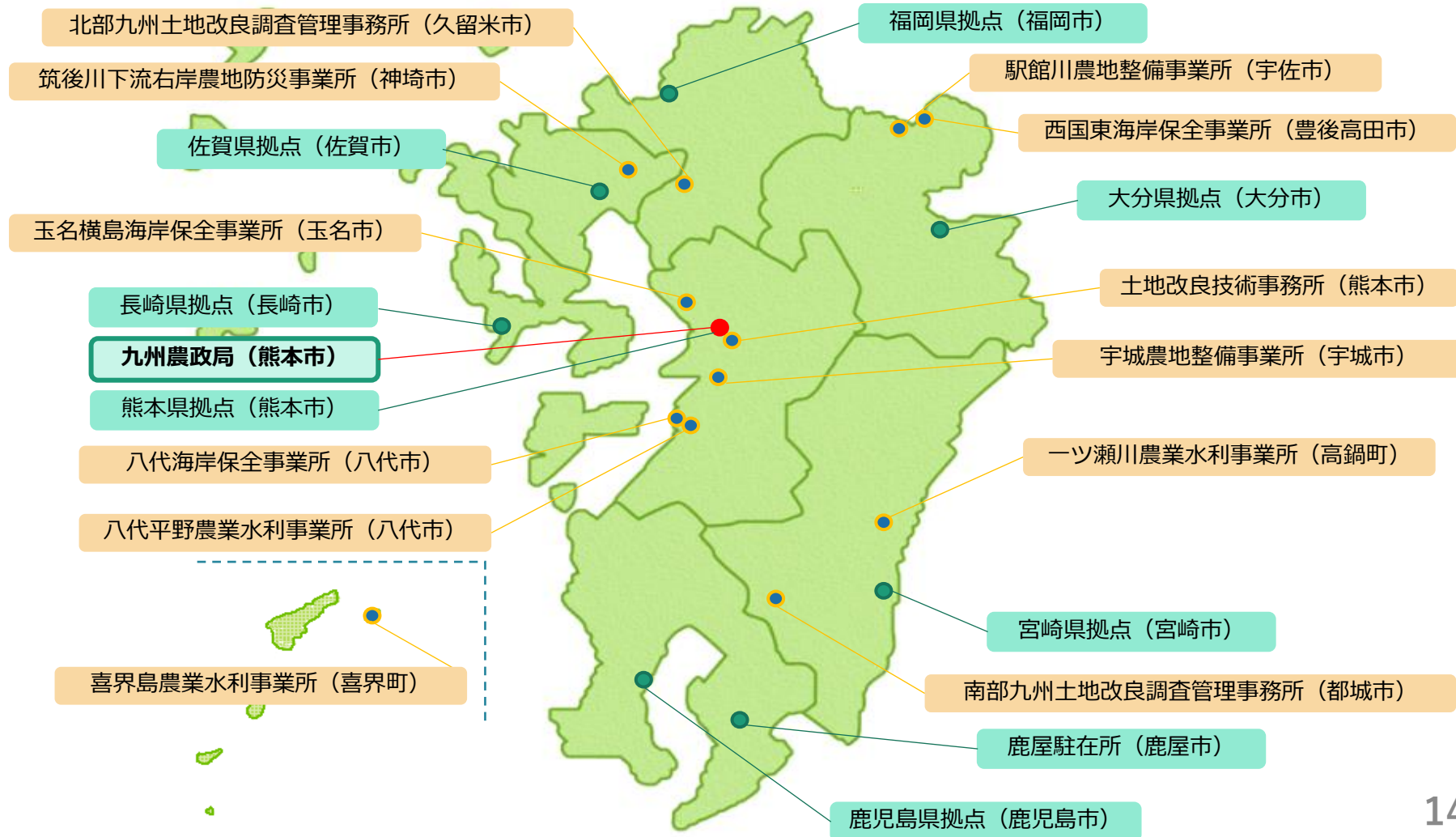
(漁業・水産加工業、資源管理、漁港)

品目ごとの担当【縦軸】

(コメ、麦、肉、木材、魚など)

九州農政局の組織① (R8.5現在)

九州農政局は、本局の約590人と各県拠点や事業所の約540人とで構成され、総定員数は約1130人です。
(ほかに再任用職員：約280人 非常勤職員：約170人)

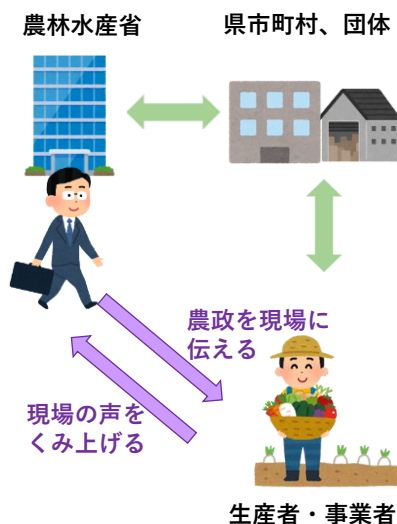


九州農政局の組織②

企画調整室

- 農業施策の地域への周知、生産者等の声を本省へ伝達
- 防災体制整備、被害状況の情報収集
- 農政全般に関する広報・報道活動、相談窓口
- デジタル技術を活用した業務効率化

農業施策の周知、
生産者等の声を本省へ伝達



防災体制整備、
被害状況の情報収集



デジタル技術を活用した
業務効率化



広報・報道活動

九州農政局 Instagram

農業現場の様子や
農水省の取組みを発信中！
コチラからご覧ください



農水省 YouTubeチャンネル



九州農政局の組織②

総務部

- 職員の採用活動
- 人事管理
- 勤務時間管理
- 給与
- 研修
- 表彰
- 公文書管理
- 秘書
- 情報セキュリティ
- 福利厚生
- 契約事務
- 物品の購入・管理
- 国有財産の管理
- 宿舍
- 補助金

職員の採用活動



給与



福利厚生



国有財産の管理



九州農政局の組織②

消費・安全部

- 食品の安全性向上
- 食育の推進
- 食品表示の適正化
- 農産物の安全確保
- 植物防疫対策
- 家畜疾病対策
- 肥飼料・動物用医薬品・ペットフードの安全確保

食育の推進

食品表示の適正化

植物防疫対策

家畜疾病対策



九州農政局の組織②

生産部

- 米・麦・豆類・野菜・果実など主要農作物及び畜産物の生産・流通の改善等に関する指導
- 米の需給調整 ■ 環境保全型農業の推進 ■ みどりの食料システム戦略の推進
- 経営所得安定対策 ■ スマート農業 ■ 生産資材（肥料、燃料、飼料）高騰関連

米・麦・豆類・野菜・
果樹など農産物の生産・
流通の改善等に関する指導



畜産物の生産・流通の
改善等に関する指導



スマート農業の推進



みどりの食料システム
戦略（環境保全型農業）
の推進



九州農政局の組織②

経営・事業支援部

- 担い手の育成・確保
- 新規就農の促進
- 女性・高齢者の活動促進
- 農林水産物・食品の輸出促進
- 地理的表示（G I）・知的財産の保護・活用
- 食品等の取引適正化
- 食文化の保護・継承
- 農地集積・集約化

新規就農の促進



農林水産物・食品の輸出促進



食文化の保護・継承



農地集積・集約化



九州農政局の組織②

農村振興部

- 農山漁村の活性化対策（農泊、農福連携、6次産業化、地産地消、情報通信）
- 中山間地域等の振興 ■ 棚田の振興 ■ 鳥獣害対策 ■ 土地改良区の指導・監督
- 農地転用許可 ■ 農業農村整備事業の調査・計画・実施

農業農村整備事業の調査・計画・実施

農業用ダム



パイプラインの埋設



農山漁村の活性化対策

廃校を活用した農泊施設



農福連携の取組(作業風景)



中山間地域等の振興

農村RMOの取組



棚田遺産



鳥獣害対策

侵入防止柵の設置



ジビエ活用拡大



九州農政局の組織②

統計部

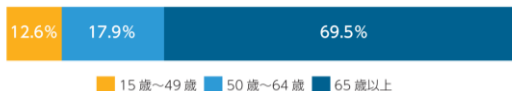
- 農林業センサス ■ 農林漁業経営体の経営実態
- 耕地面積 ■ 農林水産物の生産量
- 農林水産統計結果を活用したデータ分析 ■ 各種統計データの提供



九州農政局統計

農林業センサス

● 農業を担っている者（令和7年概数値）

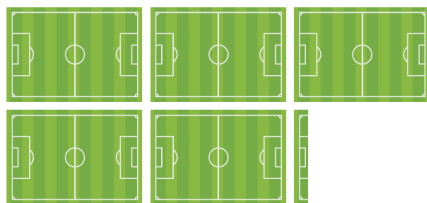


■ 15歳～49歳 ■ 50歳～64歳 ■ 65歳以上

※ 基幹的農業従事者とは、個人（世帯）で事業を営む経営体のうち、15歳以上で主に仕事として農業に従事している世帯員をいう。

● 経営耕地面積

（令和7年概数値）
農業経営体1経営体当たり
経営耕地面積：3.7ha

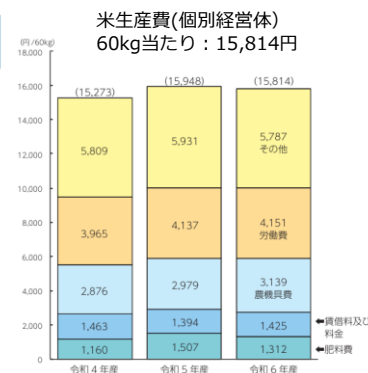


サッカーのピッチ約5.2面分

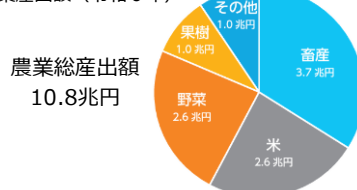
※ サッカーのピッチサイズは、FIFA(国際サッカー連盟)が推奨する105m×68mで計算。

経営統計調査

● お米を作るのにかかる費用（令和6年度）

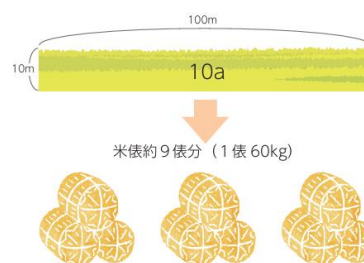


● 農業産出額（令和6年）



生産統計調査

● お米の生産状況（令和7年産概数値）



※ 1人当たり年間米消費量は53.4kg
（食料需給表：令和6年度概算値）

AIを活用した筆ポリゴンの更新作業



統計データの分析

スマート農業の推進



農林水産物・食品の輸出促進（輸出産地の拡大）

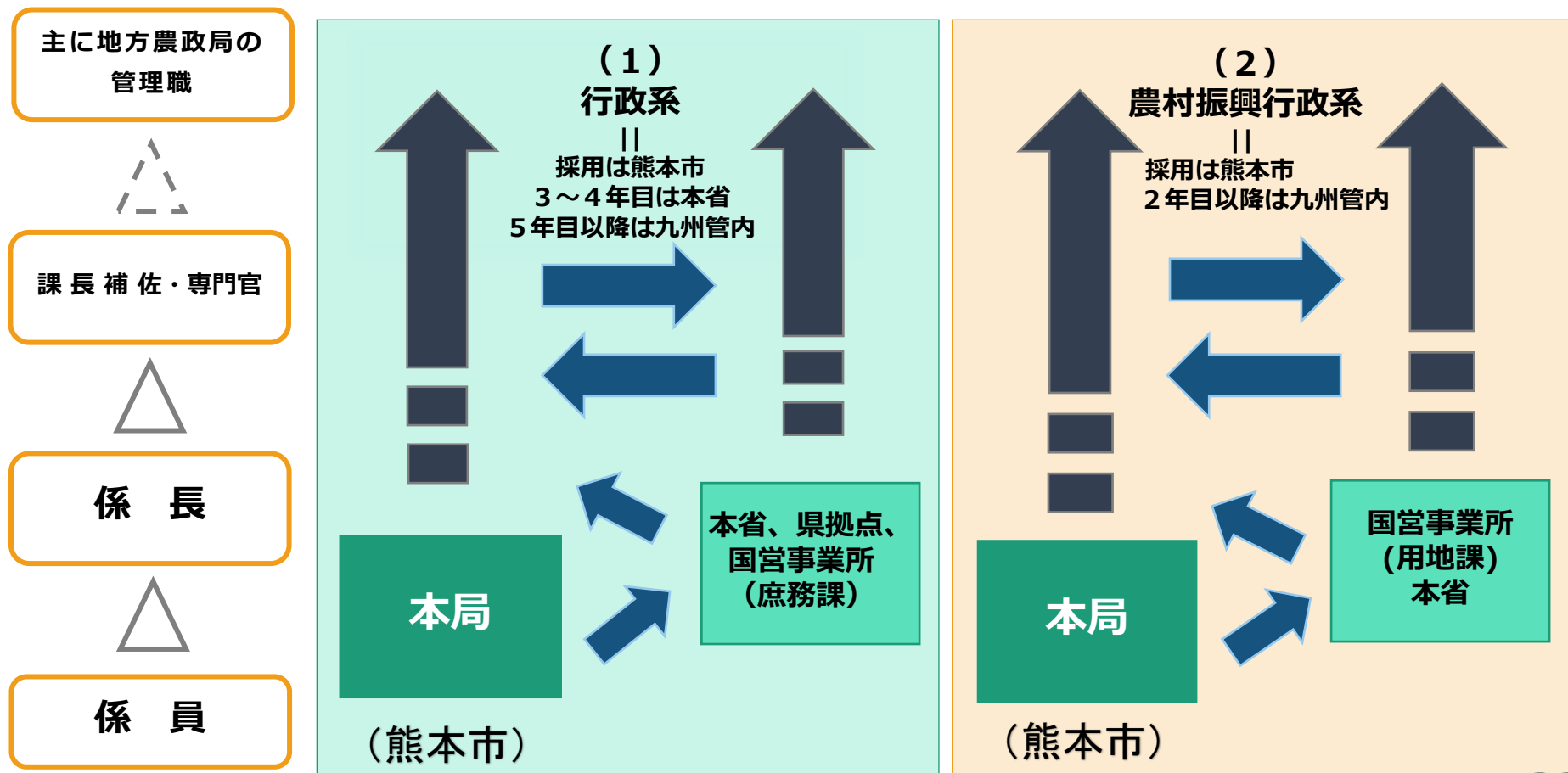


分析発表会の様子



入省後のキャリアパス（一般職試験・行政）

- ▼ 採用後は、おおむね2～3年毎に1度は異動することとなります。
 - (1) **行政系** 様々なポストを経験しながら、**自分にあった分野のスペシャリスト**になってもらいます。
 - (2) **農村振興行政系** 農業インフラの整備に係る**用地・補償業務のスペシャリスト**になってもらいます。
- ▼ キャリアプランの中で、農林水産本省での業務も経験可能です。



業務内容

行政系

●業務内容●

- ・みどりの食料システム戦略の推進
- ・各種施策に関する企画
- ・消費者行政、食育の推進
- ・内部管理（人事、会計等）
- ・担い手確保対策
- ・農林水産物食品の輸出促進
- ・食料安全保障の強化
- ・バイオマス・再生可能エネルギー利活用促進等の事務
- ・農地政策の推進、新規就農対策、経営所得安定対策の事務



●主な勤務先●

- ・九州農政局本局
- ・同局管内の各県拠点、国営事業所
- ・本省（東京霞ヶ関）

農村振興行政系

●業務内容●

- ・国営土地改良事業等に係る用地補償、施設の管理等の事務及び国営事業等に係る補助金・予算管理等の会計事務

○用地補償業務

.....

土地改良施設を作るために必要な土地の買収、移転、借地等の事務

○管理業務

.....

完成された土地改良施設を維持・管理するための事務



●主な勤務先●

- ・九州農政局管内の国営事業所
- ・九州農政局本局
- ・本省（東京霞ヶ関）

九州農政局チャレンジチーム

農業の課題解決に向けて若手ならではの視点から様々な活動・挑戦(チャレンジ)をしている、**若手職員有志**によるチームです。活動内容はチーム内で議論を重ねて決定するので、若手のうちから農業が抱える課題について意見を交わし、その解決に向けて主体的に取り組むことができます。

【令和7年度取組例：AGREAL（アグリアル）】

令和7年度は熊本県内の大学生と若手職員と一緒に農業体験を行う中で農業のリアル（魅力や大変さ）を学ぶイベントを、「AGREAL（アグリアル）」と題して企画・実施しました。

次世代を担う「大学生」と生産・加工・流通・消費の現場を訪れ、農業の魅力を伝えるとともに、若手職員が自ら考えチャレンジしていることが、日本農業新聞や地元のテレビ等でも大きく取り上げられました！



チャレンジチームの
詳しい活動内容はQR
コードから！



現場に行かなきゃ
分からないことがある。

気候変動、食料安全保障、後継者不足、農村地域の衰退...
いま、農業は数多くの課題に直面しています。

しかし、農業には、
実際に体験してみても気づく面白さや可能性がたくさんあります。

農間は足元を踏み、自分の目で現場を見て、肌で感じ、
日々農業に挑戦を続けている生産者の方々と語り合えば、
農業の真の奥深さを感じられるはず。

そして、その奥深さに気づいたとき、
あなたがこれまで農業に抱いていたイメージはきっと変わります。

AGREALは、そんな「農業のリアル」を体験できる機会を学生に提供することにも、
農業の魅力を発信する、九州農政局若手職員役のプロジェクトです。

農業のリアルを知る。伝える。
農林水産省 学生参加型プロジェクト
九州農政局チャレンジチーム アグリアル
AGREAL
AGRICULTURE x REAL

九州農政局チャレンジチームとは？
農林水産省の地方機関である九州農政局の
若手職員有志で構成されるチームです。
人材育成及び関係機関との取組推進を目的に設置されました。
若手ならではの視点から農業の魅力を
広く一般に発信するための活動を行っています。

プロジェクトの詳細などは二次元コードから。
お問い合わせは下記の連絡先もしくはメールアドレスまで。
TEL：096-211-9111（代答）MAIL：challenge_kyushu@mail.go.jp

2025年10月22日現在 Ver.031072

BUZZ MAFF (ばずまふ)

農林水産省職員自らが、YouTuberとなり担当業務にとらわれず、スキルや個性を活かして、農林水産省や日本の農林水産業の魅力を発信するプロジェクトです。



BUZZMAFF ばずまふ (農林水産省)
@BUZZMAFF · チャンネル登録者数 18.7万人 · 2241 本の動画

農林水産省職員が、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産...さらに表示

チャンネル登録 コミュニティにアクセス

ホーム 動画 ショート ライブ 再生リスト 投稿 🔍

新しい順 人気の動画 古い順



【よかトコ九州】農林水産省あるある動画〜 事業所編〜



〜農林水産省あるある〜 ばずまふのチャンネル登録者数 18.7万人 · 2241 本の動画



農水省から皆様へのお知らせ 111万 回視聴 · 5 年前



【よかトコ九州×テゲバジャーロ宮崎】プロとガチPK対決。地域を支える子ども食堂の取組とは。 3135回視聴 · 13 日前



農水省職員は何カ国語話せるの？ばずまふのチャンネル登録者数 18.7万人 · 2241 本の動画

詳しくはQRコードから！

「BUZZMAFF」でも検索してみてください！



農林水産省 BUZZMAFF

検索

人材育成・研修 ～農村現地研修～

- 九州管内の農家のもとに、2週間程度**農家の一員として働き**、受け入れ農家で衣食住を共にします。（入省2年目職員が中心）



- 研修受入農家（例）
- ・花き（洋ラン）
 - ・お茶
 - ・カスミソウ
 - ・トマト など



農家の一員として働くので、**農村地域の抱える課題、農水省の政策の現場での受け止められ方**などをリアルに見ます。

- このほか、能力向上、知識習得のため、**ITパスポート研修、語学研修、担当業務（食品安全、統計、会計など）に関する研修**など様々な研修があります！

職員の働き方

○ 職員1人当たりの超過勤務時間 (1月あたり)

常勤職員 (本省)	22.0時間
常勤職員 (九州農政局)	12.6時間

※職員一人当たりの一月当たりの超過勤務時間（令和6年）
(農林水産省HP)

※九州農政局の超過勤務時間（令和7年度（九州農政局調べ））

○ 多様な働き方

- ・ **フレックスタイム**制度、**早出遅出出勤**
- ・ **テレワーク**も実施
- ・ R7年の**平均年休取得日数**は**14.8日**
(九州農政局)

○ 仕事と家庭の両立

- ・ 育児休業取得率（R6年度） 男性…86.9%
女性…100%

出典：国家公務員の育児休業等の取得状況のフォローアップ

○ メンター制度

- ・ 採用1.2年目の職員に対して、月に1回以上、20分程度、先輩職員がこれまでの経験等に基づき、助言等を行うものです。

○ パルスサーベイ

- ・ 若手職員を対象に、2か月に1回実施する、体調や業務についての調査で、自身の状況を人事担当へ伝えるものです。



職場の雰囲気



若手職員の業務例

行政系

・ 総務業務



・ 農村整備の推進等を担う農振部における、内部管理業務を担当。

・ 部内職員の勤務管理や給与計算をし、関係各課と連絡調整を行う。

(農村振興部設計課総務係
R7入省 Kさん)

・ 経営所得安定 対策等推進業務

・ 農業者の収入の安定を支援する制度の推進。

・ 補助金業務の現地確認省力化のため衛星画像の活用を推進。



(生産部 経営政策調整官付
経営所得安定対策等推進係
R7入省 Kさん)

・ 県拠点



・ 県内の農業者との意見交換を通して、現場の意見や要望を聞き、本省・農政局に報告する。

・ 市町村やJAなどの関係団体に、農水省の施策について説明を行う。

(熊本県拠点 R7入省 Gさん)

農村振興行政系

・ 用地補償業務



・ 会議等における関係者との調整、議事録の作成、相続調査や実績報告の作成。

・ 農業休止補償に関する基準書の作成。

(熊本県内事業所 用地第二課
R7入省 Tさん)

・ 換地業務

・ 換地処分の手続を行うために必要な権利者の把握や会議の調整などを行う。

(大分県内事業所 用地第二課
換地第2係 R6入省 Sさん)



・ 管理・調整業務



・ 造成した土地改良財産における県・市町村・土地改良区からの各種申請に対する審査を行う。

(農村振興部 水利整備課
管理調整係 R5入省 Sさん)

新規採用者へ質問

～質問～

- Q1.現在の仕事内容は？
- Q2.職場はどんな雰囲気？
- Q3.学生へ伝えたいメッセージ



企画調整室
Sさん (R7入省)

- Q1. 食品価格データの分析検討、食品事業者へのヒアリング、ニッポンフードシフトの取組を担当しています。
- Q2. 皆さんメリハリを持って業務をされており、自分ももっと成長できるよう頑張ろうと思える雰囲気です。
- Q3. たくさん悩んで最後は多くの選択肢の中から九州農政局を選んでもらえる嬉しいです。一緒に働きましょう！



総務部会計課
Tさん (R7入省)

- Q1. 会計課で職員の給与関係の事務作業をしています。
- Q2. 困ったことを気軽に上司に質問できますし、先輩方も気にかけてくださるのでとても働きやすい職場です。
- Q3. 皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。頑張ってください！

経営・事業支援部
担い手育成課
Nさん (R7入省)

- Q1. 認定農業者制度や担い手関係の補助事業の担当をしています。農業者や自治体の方とのやり取りも多いです。
- Q2. 落ち着いて仕事ができ、分からないことは聞きやすい雰囲気です。若手職員同士の仲も良いと思います。
- Q3. 農政局の仕事を知ってもらえると嬉しいです。悩みもあるかもしれませんが、必ずいいご縁があると思います。



農村振興部
水利整備課
Tさん (R7入省)

- Q1. 国が管理しているダムや水路などの施設について、色々な目的で使用したい、もしくは追加の工事をしたいといった申請が来るので、それを承認するための手続きをしています。
- Q2. 優しい方たちばかりで、分からないことは丁寧に教えてくださるのでとても働きやすい雰囲気です！
- Q3. 周りの人がどんどん就職先を決めていく中で不安になることもあるかもしれませんが、適度に気分転換しながら頑張ってください！



職員の1日① (行政系)

消費・安全部 米穀流通・食品表示監視課
食品表示監視係 Iさん (R4年入省)

ある日のスケジュール

8:30 登庁

9:00 メールチェック

本省とはTeamsでの情報共有が多いため、あわせて確認します。

10:00 立入検査の事前打ち合わせ

検査計画の最終確認を行います。

11:30 携帯品の準備

12:00 昼休憩

外にランチを食べに行くこともあります♪

13:00 移動・立入検査の実施



16:30 帰庁、データ格納、報告書作成

完成した報告書は課内に共有の上、修正後、本省へ共有します。

17:15 退庁

基本的に定時で帰ります。定時退庁が呼びかけられているのでとても帰りやすいです(^^)♪

○現在の仕事内容

食品表示法、JAS法、牛トレーサビリティ法、米トレーサビリティ法、食糧法、農産物検査法及び水産流通適正化法に基づき、監視、普及啓発及び疑義情報の受付業務を行っています。

疑義情報が寄せられた場合には、立入検査を実施し、事実関係の確認・検証を行った上で、不適正表示が確認された際には関係法令に基づき適切な措置を講じています。



○休みの日の過ごし方

休日は、年次休暇を活用して旅行に出かけたり、お笑いライブを観に行ったりして過ごしています。

同期と食事に出かけることも多いです(●^o^●)



○学生へメッセージ

九州農政局では、幅広い業務に携わることができ、自分の興味・関心や適性に応じた部署で働くことが可能です。

また、時間外勤務が少なく、年次休暇も取得しやすいため、仕事とプライベートのメリハリをつけながら充実した生活を送ることができます。社会人生活に不安を感じている方もいらっしゃると思いますが、安心して働ける環境が整っています。将来の選択肢の一つとしてご検討いただくと嬉しいです。

職員の1日②（農村振興行政系）

筑後川下流右岸農地防災事業所
用地第二課 補償第4係 Kさん（R5年入省）

ある日のスケジュール

8:30 登庁・メールチェック

9:00 用地交渉に関する資料作成

資料のみでも内容が伝わるよう、
分かりやすさを意識して作成しています。

11:00 交渉のアポ取り

事前に借地予定者へ連絡し、
日程調整や概要説明を行っています。

12:00 昼休憩

14:00 用地交渉

土地の権利者に納得していただけるよう、
丁寧に説明することを心掛けています。

16:00 契約書類の整理・決裁手続

ミスがないよう、チェックを
徹底しながら処理しています。

17:15 退庁

その日の業務を振り返り、翌日の準備をして退庁します。

○現在の仕事内容

工事の実施にあたり必要となる土地の借用交渉や、その交渉に関する資料作成及び事務処理、また工事に支障となる電柱の移設に関する手続などを担当しています。

業務はデスクワークに加え、関係者との交渉や現地確認のため外出する機会も多く、省内外との調整業務が中心となっています。



○休みの日の過ごし方

休日は、ウィンドウショッピングや異動先周辺の散策を楽しむほか、友人と観光や音楽フェス、個展などを目的に旅行に出かけることが多いです。



○学生へメッセージ

上司や同期、先輩方に恵まれ、非常に働きやすい環境だと感じています。休暇も取得しやすく、業務内容も他では経験しにくいものが多いため、日々やりがいを感じています。

農村振興行政系は入省前にはイメージしにくい分野かもしれませんが、研修や周囲のサポートが手厚く、安心して業務に取り組みます。最初は不安もあると思いますが、頼れる仲間と出会える環境ですので、安心して挑戦していただければと思います。

今日お話しすること

1. 農林水産省について
2. 九州農政局で働くとは
3. 採用案内

採用スケジュール

5/31 (日)

人事院第1次試験 (筆記)

6/24 (水)
9:00

官庁訪問受付開始
10:00~

※詳細は九州農政局のHPをチェック!
官庁訪問予約受付開始
第1次試験合格発表

7/2 (木)
~

※詳細は九州農政局のHPをチェック!
官庁訪問

7/8 (水)
~
7/24 (金)

※官庁訪問禁止期間 (7/27 (日) ~)
人事院第2次試験 (面接)

8/12 (水)
9:00

最終合格発表

10/1 (木)
以降

内定

新規採用者数の推移（一般職行政系 九州農政局）

九州農政局における新規採用者数は**年々増加**しています。
（新卒だけでなく**既卒の受験者も採用**しています。）

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
行政系	9名	11名	10名	11名	10名
農村振興 行政系	4名	4名	4名	4名	5名
計	13名	15名	14名	15名	15名



HPで官庁訪問の案内等をチェックしましょう！

農林水産省の魅力

大きな転換期にある社会課題（食・農林水産業）に
幅広いフィールドで確かな貢献ができる。

転換期にある 農林水産業

- ・今、農林水産業は課題が山積している
- ・ここから10年、20年で農林水産業は大きく変わる
- ・いつの時代になっても、食と環境を守る仕事は決してなくなる

確かな貢献

- ・産業（農林水産業、食品産業）を所管するからこそ、具体的な貢献ができる
- ・食という身近なものに関われる
- ・ピンチの今だからこそ、若手がチャレンジして変革を起こせる

幅広いフィールド

- ・1次産業を中心とした多様なフィールド
- ・実際に世の中を動かせる豊富なツール
- ・ローカルからグローバルまで幅広い活躍の場がある